

## 学習意欲を高め、理解を深めるコンピュータ・インターネット活用の在り方

佐賀市立巨勢小学校 教諭 副島 勝彦 唐津市立相知小学校 教諭 益田 宏  
 佐賀県立鳥栖商業高校 教諭 今村 剛

### 1 グループ研究の趣旨

21世紀の高度情報通信社会において、学校教育でもITの効果的な活用が望まれている。国は、平成12年度からミレニアム・プロジェクトの一つとして「教育の情報化」をスタートさせ、コンピュータやインターネットを活用し、すべての子どもたちにとって、授業を「分かるもの」にすることを目標に掲げた政策を進めてきた。佐賀県の各学校においても、機器の更新・インターネット接続等の環境整備に努めてきた。しかし、下表に示すように、コンピュータ室等の整備は進んでいるものの、普通教室で校内LANやインターネットを活用できるまでには至っていない。

このため、現状においては、インターネット活用の有無や、マルチメディア活用の目的や内容等によって、普通教室とコンピュータ室のそれぞれの特性を活かした学習環境の工夫や授業展開が必要であると言える。

これまでのマルチメディアの活用方法は、主にコンピュータ室を使って、計画的に知識を順次与えたり、反復学習により内容の定着を図ったりするものであった。しかし、これからのマルチメディアを活用した授業は、即時性・双方向性といったマルチメディアの特性を活かして、児童生徒の学習意欲を引き出し、探究心を育てることが求められていると考える。コンピュータやインターネットを必要に応じていつでも使えるような学習環境の工夫をするとともに、児童生徒が興味をもち、理解を深めることができるようなマルチメディア教材を提示することにより、学習課題や直接見たり体験したりすることが難しいものを、児童生徒が「イメージ化」しやすくなるという学習効果も期待できる。

そこで、本グループでは、教材提示と調べ学習における活用という視点で、普通教室やコンピュータ室でのマルチメディア活用のモデルを示し、単元や学習過程において、授業のどの場面で、どのようなマルチメディア教材を使用することが効果的であるかについて研究を進めることとした。

コンピュータ活用等の実態 (文部科学省調査結果H17.9.30)

	コンピュータ1台あたりの児童生徒数			普通教室のLAN整備率		
	小学校	中学校	高等学校	小学校	中学校	高等学校
佐賀県	11.7人	7.3人	4.3人	50.1%	37.1%	97.2%
全国平均	9.6人	6.9人	5.5人	41.9%	45.8%	74.3%

### 2 研究の内容と方法

#### (1) 内容

- ア マルチメディアを活用した授業環境の現状について
- イ マルチメディアを効果的に活用した授業について
- ウ 研究の成果と課題

#### (2) 方法

- ア 県内の機器の整備率や教師の意識についての実態調査の結果を基に考察を行う。
- イ 授業実践を通して、教材提示と調べ学習におけるマルチメディアの活用のポイントを示す。
- ウ 研究の成果と課題をまとめる。